

# 学校だより

令和元年12月12日(水) 深谷市立大寄小学校

1学期に実施しました6年生の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。これまで基礎知識を問うA問題と応用力を問うB問題の区別を今年度よりなくして一体的に問う形式となりました。本校の実態として、全部の学年にお知らせします。

## ◇平均正答率 (単位 %)

	国語	算数
大寄小	65	66
埼玉県(公立)	64	66
全国(公立)	63.8	66.6

## ◇質問紙調査より (達成率70%未満の質問事項) ※質問紙調査より抜粋値 %(単位)

	質問事項	大寄小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	95.5	96.1	95.3
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	90.9	84.6	81.4
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	95.4	92.7	91.6
	学校のきまりを守っている	100	95.0	92.3
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	77.2	74.1	71.5
	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている	68.2	85.8	82.8
	5年生までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	72.7	82.5	77.7
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	81.8	67.5	66.1
教科への関心	国語の勉強は好きだ	63.6	64.3	64.2
	国語の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	72.7	79.4	76.9
	算数の勉強は好きだ	81.9	68.8	68.6
	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	68.2	77.7	76.5
その他	自分には、よいところがあると思う	59.1	82.1	81.2
	将来の夢や目標をもっている	100	85.1	83.8
	人の役に立つ人間になりたいと思う	90.9	94.7	95.2
	今住んでいる地域の行事に参加している	77.3	67.3	68.0

## ◇大寄小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】	%…正答率
○「梅干し作り」について調べるために適切なページを選ぶ…	90.9
○「昼職人」へのインタビューから自らの理解が正しいかを選ぶ…	81.8
○「昼職人」へのインタビューで質問の工夫として適切なものを選ぶ…	81.8
●「公衆電話」について調べた調査の内容と結果から分かったことをまとめて書く…	36.4
●文中の言葉を漢字を使って書き直す。(調査のたいしょう)…	45.5
●文中の言葉を漢字を使って書き直す。(かんしんをもってもらう)…	36.4
●「公衆電話」について調べた文中の1文を「そこで」を使って2文にする…	45.5
【算数】	
○長方形を直線で切った形から台形を選ぶ…	86.4
○棒グラフから指示されたことを適切に選ぶ…	95.5
○棒グラフを比べて何倍になったかを答える…	81.8
○350-97 で 100 をもとに立てられた式を選ぶ…	81.8
●示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方を記述で書く…	36.4
●除法の計算の仕方を減法をもとに適切に説明をする…	36.4
●1800÷6 は何 m 分の代金を求めているかの式を選ぶ…	40.9
●グラフから一人あたりの水の使用量についてわかることを選び理由を書く…	50.0
【質問紙】	
○学校のきまりを守っている…	100
○将来の夢や目標をもっている…	100
●自分にはよいところがあると思う…	59.1
●国語の勉強は好きだ…	63.6
●算数で学習したことを生活に中で生かせないか考えている…	68.2

## ◇課題への取組・改善策

【国語】
・キーワードや文字数の制限を加えて、学習のまとめや感想を書く機会を多くする。
・漢字テストのための漢字練習ではなく、漢字の意味を理解して書けるようにする。(辞書の活用)
・初めて読む文章や少し長い文章の設問にも的確に答えられるようにする。(プリントボックスの活用)
・主語、述語の関係を正しく理解できるように、多くの文章や言葉にふれる。(音読、暗唱)
【算数】
・なぜ、その答えに至ったのかを言葉や式、図で説明する課題解決的学習をさらに進める。
・単元のまとめでは、個々の習熟度に応じた問題を用意して、数学的な思考力を高める。
・文章題や図形、グラフによる問題を意図的、計画的に進める。(プリントボックスの活用)
【その他】
・授業スタンダードをもとにした授業を展開し、思考力が高まるような授業改善に努める。
・各ドリルの反復練習だけでなく、発展的な学習にも取り組めるような家庭学習を工夫する。
・宿題の内容に予習・復習に係る課題も含めるなどの工夫、改善をする。
・わずかな伸びも適切に評価し、児童一人一人の学習意欲が高まるようにする。

上記の調査結果を受け止め、埼玉県学力・学習状況調査結果と同様に、「課題への取組・改善策等」について取り組んでいるところです。具体的には、授業では一人一人の状況を把握しながら個に応じた指導の充実にむけ授業改善を進めています。家庭との連携・協力では、「生活習慣、学習習慣、教科への関心、その他」の項目では、学校・家庭が同じ方向で指導・支援の充実に取り組んでいきたいと思っております。保護者のみなさんのご理解・ご協力について重ねてお願い申し上げます。